

ゆたさある 風水 優る肝心 咲き誇る文化♪

思いまち

よ み た ん そ ん

読 谷 村



市町村コード	473243	類型	V-2
所在地	〒904-0392 読谷村字座喜味2901番地		
T E L	(098)982-9200	F A X	(098)982-9202
ホームページ	http://www.yomitani.okinawa.jp/		
指定地域	都市計画・農業振興・産業高度・情通産振・観光促進		

〈組織〉

(平成31年3月31日現在)

村長	いしみな ぜんじつ 石 嶺 傳 實 任期 H34.2.28 (3期)	副村長	なかそね もりかず 仲 宗 根 盛 和 任期 H34.11.3 (1期)
副村長	-	教育長	まつだ へいじ 松 田 平 次 任期 H32.3.31 (3期)

〈概要〉

県下	18 位
総面積	H30.10.1 耕地 H30.7.15 宅地 H30.1.1
35.28 km ²	762 ha 5,019,492 m ²

県下	12 位
住基人口	H30.1.1 H27国調人口 H22国調人口
41,444 人	39,504 人 38,200 人
年少人口割合	18.4% (県全体 18.4%) 高齢化率 18.5% (県全体 19.6%)

住基世帯数	H30.1.1 H27国調世帯数 H22国調世帯数
16,099 世帯	13,658 世帯 12,422 世帯

有権者数	H31.3.1 男 女
32,235 人	15,711 人 16,524 人

議長	いはあつし 伊 波 篤	副議長	うえちさかえ 上 地 榮
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	19	19	H34.9.27
	常任委員会	党派構成	無所属
総務、文教厚生、建設経済	公明 1	共産 1	無所属 17

沿革

明治41年4月1日	村制施行
昭和21年12月16日	読谷山村が読谷村に名称変更
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H30~H39 中长期財政計画 H31~H35
基本計画	H30~H34 (5年計画 1年ローリング)
実施計画	H30~H32 (3年計画 1年ローリング)

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/行事等〉

村花	ブーゲンビレア	村木	フクギ
村鳥	-	村魚	ジンベエザメ
名所・旧跡	世界遺産座喜味城跡、ヤチムンの里、残波灯台、赤犬子宮、喜名番所		
祭り、行事	読谷まつり、青年エイサーまつり、やちむん市、陶器市、芸市、ハーリー大会		
名産・特産	ヤチムン(琉球陶器)、琉球ガラス、読谷山花織、読谷山ミネー、紅型、紅イモ、小菊、ニンジン、もずく井、楚辺ポーポー		
姉妹都市	-		
その他	パワーアップキャラクターよみとん		

〈平成31年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	村道比謝牧原線整備事業	継続	411
補助	読谷村都屋漁港鮮度保持施設整備補助事業	新規	273
補助	認可保育園施設整備補助事業	継続	270
補助	宇座コミュニティ施設建設事業	継続	143

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	総合情報センター整備事業	未定	未定
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

〈広域市町村圏・広域計画〉

〈基地面積〉 (H30.3末)

中部広域市町村圏	米国軍	基地面積	1,255.1 ha
新地域経済活性化計画	市町村面積に占める割合	35.6%	
沖縄県中部地方拠点地域基本計画	自衛隊	基地面積	0.0 ha
-	市町村面積に占める割合	-	
-	合計	1,255.1 ha	35.6%
-	県面積に占める割合	0.55%	

《教育》 (平成30年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	5園	349人
村立小学校	5校	2,955人
中学校	2校	1,382人
村立	2校	1,382人
村立以外	0校	0人

《医療》 (平成29年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	27箇所	0床
村立	1箇所	0床
村立以外	26箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

《産業》 ①産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	457人	3.1%
第2次	2,670人	18.3%
第3次	11,444人	78.5%
合計	14,571人	100.0%

②村内総生産 (H27年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	1,029	1.9%
水産	79	0.1%
鉱・製造	3,895	7.1%
建設	7,288	13.2%
電気ガス水道廃棄物	1,067	1.9%
運輸・郵便・通信	3,568	6.5%
卸売・小売	13,661	24.7%
金融保険不動産	937	1.7%
宿泊・飲食サービス	2,905	5.3%
専門・科学技術支援	1,872	3.4%
公務・教育	7,036	12.7%
保健衛生社会	5,350	9.7%
その他サービス	6,561	11.9%
合計	55,248	100.0%

《福祉》

区分	施設数	収容定数
保育所(H30.4.1)	12箇所	1,065人
村立	3箇所	210人
村立以外	9箇所	855人
生活保護率(H29年度平均) 人口千人当たり		12.53人

《財政》

①決算収支 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度
歳入総額	15,625	16,939	17,153
歳出総額	14,992	16,466	16,624
形式収支	633	473	530
実質収支	406	454	508
比率	5.6%	6.2%	6.8%
積立金	552	551	382
積立金取崩額	446	437	380
実質単年度収支	228	176	56

②主要指標 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財力指数	0.55	0.57	0.58	9	0.37	0.53	0.31
標準財政規模 a	7,219	7,313	7,464	12	8,354	22,703	3,092
経常収支比率	81.2	82.5	82.0	12	87.2	88.0	85.1
人件費	23.7	23.3	23.2	13	23.1	22.3	25.4
扶助費	8.3	9.0	9.9	24	15.4	18.3	8.1
公債費	7.3	7.3	7.5	3	14.4	14.7	13.5
物件費	16.2	16.0	15.5	22	14.5	14.0	15.7
その他	25.7	26.9	25.9	34	19.8	18.7	22.4
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	3.5	3.3	3.0	2	8.0	8.6	6.4
将来負担比率	-	-	-	-	27.1	43.8	-
税徴収率	93.8	94.9	95.6	23	96.6	96.8	95.9
現年課税分	97.8	98.0	98.1	27	98.7	98.8	98.6
滞納繰越分	41.7	43.7	44.0	6	37.8	39.3	33.6
債務負担行額 b	649	1,883	549	-	-	-	-
b/a %	9.0	25.7	7.4	-	-	-	-
地方債現在高 c	8,121	8,420	8,995	-	-	-	-
c/a %	112.5	115.1	120.5	6	-	-	-
積立金現在高	5,497	5,629	5,692	-	-	-	-
財政調整基金	2,607	2,721	2,723	-	-	-	-
減債基金	869	796	714	-	-	-	-
その他特目基金	2,021	2,111	2,255	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	90,076	92,800	96,326	16	-	-	-
自主財源比率	41.2	41.5	42.2	10	-	-	-

③公営事業会計等における繰入金の状況 (H29年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金	
国民健康保険事業	226	816	146	
老人保健医療事業	0	0	-	
介護保険事業(保険)	0	0	-	
後期高齢医療事業	8	91	-	
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入金	
法非適	下水道事業	46	142	0
	-	0	0	0
	-	0	0	0
	-	0	0	0
法適	上水道事業	156	3	0
	-	0	0	0

④歳入の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	3,992	23.3%
地方譲与税	73	0.4%
地方交付税	2,610	15.2%
普通交付税	2,488	14.5%
特別交付税	123	0.7%
国庫支出金	2,593	15.1%
県支出金	2,543	14.8%
地方債	1,157	6.7%
その他	4,185	24.4%
歳入総額	17,153	100.0%

④歳出の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	2,386	14.4%
物件費	2,201	13.2%
扶助費	3,471	20.9%
補助費等	1,743	10.5%
公債費	651	3.9%
普通建設事業費	3,229	19.4%
補助事業費	2,698	16.2%
単独事業費	523	3.1%
その他	2,943	17.7%
歳出総額	16,624	100.0%

《行政の特色》

これまでのむらづくりの基本としてきた理念である日本国憲法の「平和主義」「主権在民」「基本的人権の尊重」「地方自治の本旨」を遵守するとともに、【平和・環境】【文化・健康】【自立・共生】の理念を結び、村民自らが創造し、互いに協働し、そして、多くの潤いと喜びを享受し、感動できるむらづくりをとおして、さらに勢い増す読谷村「いちゅいゆんたんざ」を目指している。